

9月に台湾・高雄市で開催されるフィンスイミングのワールドカップ(W杯)に松山市出身で早稲田大2年の中野優さん(20)＝東京＝が大学生女子日本代表選手として出場する。世界大会に向け、自己ベスト更新を目指し練習に励んでいる。

フィンスイミング

いざ
W杯

松山出身・早大 中野さん 出場



中野さんは5月に横浜市で開催された日本選手権で、派遣標準記録に近いタイムを出して代表に選ばれた。W杯では、1枚の大きなフィンに両足を装着し、シュノーケルで呼吸しながら水面を泳ぐ「サーフイス」の50メートルをメインに3種目に出場する。

高校時代から本格的にフィンスイミングを始め、県内クラブ「ファンフィールドV松山」で練習に取り組んだ中野さん。3年前にタイで開催されたW杯では、2種目で銅メダルを獲得した。

来月
台湾

自己新狙う

昨年3月、済美平成中等教育学校を卒業して早大へ進学。100人を超す大学のフィンスイミングチーム「SIXB EAT(シックスビート)」に所属し、同じ短距離選手から練習法を学んだり、練習中に撮影した動画を見て泳法を研究したりしている。推進力を高める筋力トレーニングにも励む。

7月25日から1週間、松山市に帰省し市内のプールで練習した。中野さんを指導する

ファンフィールドV松山の城戸健一さん(55)は「力強くダイナミックな泳ぎになった。大学には多くの仲間がいて、楽しく頑張っているのが何より」と成長を喜ぶ。

「50メートルサーフイスで19秒台を目標に、自己ベストの20・69秒の更新を目指す」と中野さん。競技の普及活動にも携わり、指導者の資格も取って、愛媛でも多くの人にフィンスイミングに取り組んでもらえるようにしたい」と目を輝かせた。(杉本賢司)



●9月に台湾で開催されるフィンスイミングのW杯に出場する中野さん
●5月の日本選手権に出場した中野さん(右から人目、本人提供)